

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 3 年 3 月 17 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470104849		
法人名	株式会社 ニックス		
事業所名	グループホーム かぐや姫		
所在地	広島市東区尾長東2-6-6 (電話) 082-209-1158		
自己評価作成日	令和3年11月30日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3470104849-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和4年3月8日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>①GH1、GH2は廊下を挟んで繋がっているため、ご利用者様が行き来でき、ご利用者様同士顔見知りになり、笑顔で挨拶したり一緒に手作業等されている。</p> <p>②ご利用者様の日常の行動・行事等の写真を撮り、ご家族様にお渡ししている。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>理念「相手本位の心」のもとで、日々介護を実践する中で、ミーティングや随時の気づきの意見が出しやすく環境整備をしている。「まずは試して」利用者の出来る事を重視して利用者に寄り添う支援を職員全員で取り組んでいる。健康面に関して日頃から医療機関とのオンコール体制を整えている。生活する中で月日と共に身体状況も変化し、看取り支援状態になった際、契約時に「重度化した場合の指針」に説明し同意・署名を得ているが再度、家族に医師、看護師、管理者などが説明し同意の上、看取り計画書を作成している。職員全員がマニュアルに沿った看取りケアに取り組んでいる。職員も資格や個々のスキルアップ向上に意欲的で、事業所もフォローアップ体制が充実している。</p>

自己評価	外部評価	項目(かぐや姫 GH1	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	理念は常に「相手本位の心」を職員間で共有し、その為には何をすべきか？をミーティング等で話し合いを行っている。	理念「相手本位の心」をもとに職員全員が行動目標を共有し、普段の介護の中から課題をミーティングにて話し合い、振り返り、日々笑顔で利用者の立場に立って介護実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナ禍の中、地域住民との交流が出来ていない。職員が出勤・退社時に地域の方と挨拶を交わしている。	事業所は町内会に加入し、回覧板が回ってくる。コロナ禍までは、町内の行事や地域交流プラザの催し、地域運動会に参加していた。今後も地域との繋がりを絶やさぬよう、地域住民の一員として交流を深める考えである。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	毎月開催されていた町内会も開かれず地域の方との交流もほとんどなかった。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナ禍の為、会議を開催する事が困難な為ご家族様にご意見を頂くアンケート方式で行い、それを基に運営推進会議議事録を作成した。	地域包括支援センター職員、家族等参加で開催している。現在は新型コロナウイルス感染症対策の為、家族の意見、要望を書面にて聞き、要望、助言などについて会議形式にて説明をしている。面会が困難な中で、リモート面会や電話、写真にて報告を行っている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	市町へ出向く事が難しい為電話で質疑応答に努めている。	市町担当者に電話相談や生活課担当職員の助言、運営推進会議議事録の送付など日頃から連携を図り、協力関係を構築している。	

自己評価	外部評価	項目(かぐや姫 GH1	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束は基本的には行っていない。職員間で話し合い拘束につながらない方法手段の意見交換を行っている。ドアは電子ロック使用しており拘束にあたるが、何度も施設から出られた事もある為、電子ロックを使用している。但し、GH1とGH2の中扉は開放しており行き来して頂いている。	3ヶ月に1回の委員会、外部及び内部研修を通じて、介護する上で身体拘束をしない方法など意見交換を行っている。言葉による拘束も、その時、その場の対応を職員間でお互いが助言出来る環境で意識統一し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	現在社外での研修は回数も少なく社内研修はリモート等で研修に参加し職員間で共有している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在グループホームでは1名様が成年後見制度を用いている。面会がままならない日が多いですが来訪された際、時間があれば質問等して勉強させて頂いている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の際には時間をかけて契約内容を理解して頂ける様説明している。重度化した場合に関して事前に同意書を頂くが、家族様の疑問や不安に思っておられる事には納得して理解を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	コロナ禍の為運営推進会議が開催が厳しかった為、ご家族様に意見等を頂きたい為アンケート用紙をご家族様へ送り、それを基に会議録を作成した月もあった。質問には後日ご納得して頂ける様説明した。	運営推進会議が困難な為、家族にはアンケート、リモート面会や電話、日頃の様子を写真を送付するなど意見や要望を聞く機会を設けている。コロナ禍の中で、以前より家族と会話をする機会が増えてきている。	

自己評価	外部評価	項目(かぐや姫 GH1	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に一度開催するミーティング以外にも意見があれば出来るだけ速やかに対応している。業務以外でも役割を持ってもらう事により自信とやる気、意欲が芽生える様な体制作りを目指している。	担当者制により、業務の中で気づきやアイデア、意見が出しやすい体制を整えている。職員の提案や意見を試す事で業務改善や備品購入に反映されるなど、職員の自信や意欲の向上に繋がっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年2回、個人面談をしており、職員からの具体的な意見を吸い上げ、各自がやりがいがある様、職場環境を整える。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	コロナ禍の為、通常の研修が開催されない月もあり、リモートで少人数での研修が数回あった。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	コロナ禍の中の為、行動制限があり直接ではなく電話、メール等で情報交換している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご本人様、ご家族様の不安や要望があれば、いつでも納得、理解して頂ける様な関係作りを目指していく。		

自己評価	外部評価	項目(かぐや姫 GH1	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご本人様が安心して、やすらぎの場所と思ってもらえる様心掛ける。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご家族様、ケアマネージャー、職員、看護師と共にご本人様にとって必要な支援を行い職員で共有する。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	職員とご利用者様とひとくりにしないで共に学び共感出来る関係性を目指していく。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	コロナ禍の為、面会が思う様にいかず、リモートで会話されたご利用者様おられた。時には敬老の日、誕生日に施設からご家族様に電話し近況を報告し、ご本人様と話をされる事もある。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	月に一度はご家族様と一緒に食事に行かれていたが出来ない為、ご利用者様のお好みの物を届けに来られるご家族もおられる。	生活歴などで馴染みの人や場を把握している。家族にはリモートや電話で好みの物など聴いている。利用者には話題の中に家族の話を組み入れるなどして把握している。利用開始前からの病院受診の際に医師と会話があるなど馴染みの人や場所との関係継続支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目(かぐや姫 GH1	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日中は出来るだけデイルームで過ごして頂きご利用者様同士が話をされたり、職員も入って会話している。時には写真にしてご家族様にお渡ししている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	他施設へ行かれたご利用者様の状況を電話で聞いたり、手紙を(誕生日)出し入居時と同じ様な関係性を保っていく。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者様がその人らしく生活していけるよう職員一人ひとりが常にご利用者様に関心を持っている様に努める。	利用開始前の情報収集や生活歴、日々の介護の実践の中で、より細かな情報をケース記録に随時記入し、嗜好を含め役割を持ってもらえるよう、本人本位に検討をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の情報をしっかり収集し、職員間で共有して生活習慣や意向に応じて過ごせる様に努める。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日ご利用者様の変化に気付ける様に変化あれば職員間で共有し、対応策を検討する。		

自己評価	外部評価	項目(かぐや姫 GH1	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>看護師、担当職員、ケアマネジャー、管理者、ご家族様同席の上、ご本人様の意向、ご家族様の意向をお聞きし、それにとつて介護計画を作成し実施している。反映出来ない時は再度モニタリングし、職員間で意見交換する。</p>	<p>利用者の現状の状態を把握し、医師・医療機関・管理者・担当職員など関係者の意見や本人、家族の意見・要望が反映された介護計画書を作成している。又、モニタリングやカンファレンスで日々介護の中で細かな気づきや身体状況の変化など意見交換を行い、介護計画書の見直しをしている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>思いがけないご利用者様の新たなる発見があった場合は直ちに記録する。それを基に介護計画の見直しに活用する。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>常にご利用者様のニーズに対応出来る様、柔軟な支援を心掛ける。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の保育園、スーパー等に行き、交流を保っていたが、コロナ禍の為ままならず。緩和傾向になって来たため、近所を散歩したりしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>事業所の協力医に変更される場合が殆どであるが、ご家族様、ご本人様の意向で入居前の馴染みの病院へ受診希望される場合は意向に沿うように努めている。</p>	<p>契約時、かかりつけ医の継続など希望の確認をしている。協力医による2週間に1回の往診がある。専門医の受診は家族や職員同行により支援している。受診後は電話で家族に状況報告をしている。夜間緊急時の連絡網や医療機関とのオンコール体制も整えていて、適切な医療が受けられるようにしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(かぐや姫 GH1	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	職員はご利用者様の状態変化や異常に気付いた時は速やかに看護師に報告する。常日頃から介護職員と看護師連携を保ち、ご利用者様へ適切な看護を受けられるよう支援する。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様が入院された場合は状態を把握し、今後についての話し合いを病院関係者、ご家族様、ご本人様とし退院計画を支援していく。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に重度化した場合の指針についてご説明し、同意書にサイン頂いている。看取り時は看取り計画書を作成し、医師、家族、職員が情報共有し連携を取りながら支援していく。	契約時「重度化した場合の指針」の説明を行い、書面にて同意、署名をしている。看取り時には、再度医師、管理者など家族に説明し同意の上、看取り計画書を作成し、職員、関係者がミーティングを行い情報共有し、マニュアルに沿った看取りにより穏やかに最期を迎えられるよう取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	ミーティング時に急変や事故が発生した時に備える話し合いや実際に想定した場面での対応を実践している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の防火訓練は行っている。町内会でも火災時での地域住民の協力を得られるよう声掛けしている。(現在は町内会中止) 備蓄も食料品が多量にあり賞味期限もデータ上で管理、補充している。	消防署の指導のもと、年2回防火訓練を行っている。年1回町内会の訓練や地域住民協力が得られるよう声掛けして消火器を使用しての訓練をした事があった。災害時に備えて(水・缶詰、ご飯類など)備蓄している。	

自己評価	外部評価	項目(かぐや姫 GH1	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人生の先輩であるご利用者様に接する際は尊厳をもって声掛けする様努める。一人一人にプライバシー、羞恥心もあり配慮しながら対応する。常に初心に返る様にと毎月のミーティング時には議題にあげている。	不適切なケアにならないよう社内研修や毎月のミーティングにて理解を深めている。人生の先輩の利用者に対して、人格を尊重し、尊厳ある接し方が実践出来るよう日々の声掛けについても「相手本位の心」を持ち、名前を呼ぶ時など職員間でもお互いに意識を持って取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご利用者様の意思や思いを尊重し、無理強いや強制を行わないようにする。少し時間をあけて再度声掛けし、ご利用者様自身が自己決定できるような環境作りをする。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人一人がご自分のペースで生活出来るよう、ご利用者様の希望を聞き、ご希望に沿える様、支援していく。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	起床時には洗面台の前で出来る範囲で整容されている。入浴時には職員と一緒に洋服を選んでもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	週に一度は日頃提供していない内容のメニューをお出し大変喜ばれている。米飯は好まないご利用者様にはふりかけやおむすびを提供し食事を楽しんで頂いている。	個々の利用者に配慮し、箸が持てない人にはその人にあった物、自分で食べられる物を提供している。週1回は日頃提供しない麺類を献立に加えたり、時にはちらし寿司、お好み焼き、クリスマス用弁当など食を楽しめるよう工夫している。利用者の力を活かせるよう、片付けなどを行っている。	

自己評価	外部評価	項目(かぐや姫 GH1	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎月体重を計り、増減をチェック、記録している。ご利用者様の食事量、水分量も記録し食事量、水分量が確保出来てない時はミーティング等で話し合い、好みの物を見つけ提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアを実施している。出来る所までご自分でして頂き最後は職員にてチェックしている。義歯が合わなくなったご利用者様は歯科受診日に報告している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>出来るだけトイレ誘導し、ご本人様にトイレで排泄する習慣をもって頂く。夜間はポータブルトイレを使用し職員が介助している。</p>	<p>利用者一人ひとりの排泄間隔を把握し、立位保持が可能であれば、生活リハビリとしてトイレでの排泄習慣に取り組んでいる。グループホーム1では3ヶ所、グループホーム2では各居室にトイレ、洗面台があり、プライバシーを損ねる事のないよう配慮している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>ご利用者様一人ひとりに合った便コントロールを実施している。出来るだけ薬ではなく自然排便を目指し、水分もしっかり摂取して頂く様に声掛けし提供している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>最低週2回提供している。一般浴だけでなく機械浴もあり、しっかり入浴を楽しんで頂いている。女性のご利用者様は特に職員と一緒に洋服を選んで頂きながら会話をされている。入浴拒否のご利用者様には無理強いせず日を変えたりして対応している</p>	<p>基本(週2回)入浴をしている。失禁など場合によっては柔軟な対応をしている。機械浴(リフト式)にて浴槽に浸かってもらうなど身体状況に負担なく入浴できている。入浴後に着る洋服選びや入浴剤、入浴後の保湿剤塗布など入浴を楽しむ支援をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(かぐや姫 GH1	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>ご利用者様の入居前の生活習慣 を崩さず、その人らしく自然体 で休息や睡眠がとれる様に支 援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>服薬時には職員は日付、名前、 を確認し、ご利用者様にも確 認して頂いて。新しく処方され た薬は内容をしっかり理解し 職員で共有する。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>入居前の生活歴をしっかりと 職員間で共有し、一人一人に 合った役割を持って頂き、楽 しんで生活出来るよう支援し ている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援して いる。</p>	<p>コロナ禍の為、外出行事、実 施出来ず。家族様と連絡し、 リモートでご利用者様と会 話される様に対応する。</p>	<p>外出自粛の中でリモートでの 会話や家族との連絡の時、個 々の希望を把握している。病 院受診時の季節の風景の 変化や四季を感じる植木鉢の 花の彩など写真撮影にて話 題や会話が弾むなど出来る 範囲内で行っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一 人ひとりの希望や力に応じて 、お金を所持したり使えるよ うに支援している。</p>	<p>ご利用者様と近所へ買い物等 出掛けられない為、職員が ご利用者様の望まれる品物を 買って提供するように心掛け ている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(かぐや姫 GH1	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	今の時期、面会が困難な為家族様から声が聞きたい。ご利用者様からも娘と話したい等の訴えある際はその都度対応している。暑中はがきを書ける所は書いて頂き、ご家族様へ送ったりと支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご利用者様は1日のうち、大半をデイルームで過ごされている。職員も間に入り四季を感じられるような壁画を作り楽しめるような空間作りを提供している。	四季を感じる壁画や空調管理、新型コロナウイルス対策(換気、消毒、マスク装着など)衛生面でも環境整備をしている。フローにはソファーが2か所設置され、本を読んだり、横になって寛ぐなど思い思いゆったりと意心地よく過ごせるよう工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	1日のうち、ほとんどデイルームで過ごされているが、気の合った利用者様と話されたり、一人で新聞読んだり、パズルしたりと思い思いに過ごされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	安心して過ごせる様、家族写真、使い慣れた品物を身近に置き、不穏なく日々が送れる様、支援していく。	自宅で使い慣れた思い出の品物、自由に持ち込まれている。猫好きな利用者は身近に猫のぬいぐるみや猫のカレンダーなど好みの物が飾られている。掃除は職員と一緒にするなど気持ちよく、自宅と変わらない雰囲気居心地よく過ごせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	事故、ケガ等が起こらないよう細心の注意を心掛けながら職員間で声掛けし、出来る事が少しでも増える様支援していく。		

V アウトカム項目(かぐや姫 GH1) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(かぐや姫 GH2	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	理念は常に「相手本位の心」を職員間で共有し、その為には何をすべきか？をミーティング等で話し合いを行っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナ禍の中、地域住民との交流が出来ず。職員が出勤・退社時に地域の方と挨拶を交わしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	毎月開催されていた町内会も開かれず地域の方との交流もほとんどなかった。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナ禍の為、会議を開催する事が困難な為ご家族様にご意見を頂くアンケート方式で行い、それを基に運営推進会議会議録を作成した。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	市町へ出向く事が難しい為電話で質疑応答に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(かぐや姫 GH2	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束は基本的には行っていない。職員間で話し合い拘束につながらない方法手段の意見交換を行っている。ドアは電子ロック使用しており拘束にあたるが、何度も施設から出られた事もある為、電子ロックを使用している。但し、GH1とGH2の中扉は開放しており行き来して頂いてる。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>現在社外での研修は回数も少なく社内研修はリモート等で研修に参加し職員間で共有している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在グループホームでは1名様が成年後見制度を用いている。面会がままならない日が多いですが来訪された際、時間があれば質問等して勉強させて頂いている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の際には時間をかけて契約内容を理解して頂ける様説明している。重度化した場合に関して事前に同意書を頂くが、家族様の疑問や不安に思っておられる事には納得して理解を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>コロナ禍の為運営推進会議が開催が厳しかった為、ご家族様に意見等を頂きたい為アンケート用紙をご家族様へ送り、それを基に会議録を作成した月もあった。質問には後日ご納得して頂ける様説明した。</p>		

自己評価	外部評価	項目(かぐや姫 GH2	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に一度開催するミーティング以外にも意見があれば出来るだけ速やかに対応している。業務以外でも役割を持ってもらう事により自信とやる気、意欲が芽生える様な体制作りを目指していく。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年2回、個人面談をしており、職員からの具体的な意見を吸い上げ、各自がやりがいを持つ様、職場環境を整える。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	コロナ禍の為、通常の研修が開催されない月もあり、リモートで少人数での研修が数回あった。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	コロナ禍の中の為、行動制限があり直接ではなく電話、メール等で情報交換している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご本人様、ご家族様の不安や要望があれば、いつでも納得、理解して頂ける様な関係作りを目指していく。		

自己評価	外部評価	項目(かぐや姫 GH2	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご本人様が安心して、やすらぎの場所と思ってもらえる様心掛ける。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご家族様、ケアマネージャー、職員、看護師と共にご本人様にとって必要な支援を行い職員で共有する。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	職員とご利用者様とひとくりにしないで共に学び共感出来る関係性を目指していく。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	コロナ禍の為、面会が思う様にいかず、リモートで会話されたご利用者様おられた。時には敬老の日、誕生日に施設からご家族様に電話し近況を報告し、ご本人様と話をされる事もある。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	月に一度はご家族様と一緒に食事に行かれていたが出来ない為、ご利用者様のお好みの物を届けに来られるご家族もおられる。		

自己評価	外部評価	項目(かぐや姫 GH2	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日中は出来るだけデイルームで過ごして頂きご利用者様同士が話をされたり、職員も入って会話している。時には写真にしてご家族様にお渡ししている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	他施設へ行かれたご利用者様の状況を電話で聞いたり、手紙を(誕生日)出し入居時と同じ様な関係性を保っていく。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者様がその人らしく生活していけるよう職員一人一人が常にご利用者様に関心を持っている様に努める。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の情報をしっかり収集し、職員間で共有して生活習慣や意向に応じて過ごせる様に努める。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日ご利用者様の変化に気付ける様に変化あれば職員間で共有し、対応策を検討する。		

自己評価	外部評価	項目(かぐや姫 GH2	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>看護師、担当職員、ケアマネージャー、管理者、ご家族様同席の上、ご本人様の意向、ご家族様の意向をお聞きし、それにのっとって介護計画を作成し実施している。反映出来ない時は再度モニタリングし、職員間で意見交換する。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>思いがけないご利用者様の新たなる発見があった場合は直ちに記録する。それを基に介護計画の見直しに活用する。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>常にご利用者様のニーズに対応出来る様、柔軟な支援を心掛ける。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の保育園、スーパー等に行き、交流を保っていたが、コロナ禍の為まみならず。緩和傾向になって来たため、近所を散歩したりしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>事業所の協力医に変更される場合が殆どであるが、ご家族様、ご本人様の意向で入居前の馴染みの病院へ受診希望される場合は意向に沿うように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(かぐや姫 GH2	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	職員はご利用者様の状態変化や異常に気付いた時は速やかに看護師に報告する。常日頃から介護職員と看護師連携を保ち、ご利用者様へ適切な看護を受けられるよう支援する。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様が入院された場合は状態を把握し、今後についての話し合いを病院関係者、ご家族様、ご本人様とし退院計画を支援していく。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に重度化した場合の指針についてご説明し、同意書にサイン頂いている。看取り時は看取り計画書を作成し、医師、家族、職員が情報共有し連携を取りながら支援していく。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	ミーティング時に急変や事故が発生した時に備える話し合いや実際に想定した場面での対応を実践している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の防火訓練は行っている。町内会でも火災時での地域住民の協力を得られるよう声掛けしている。(現在は町内会中止) 備蓄も食料品が多量にあり賞味期限もデータ上で管理、補充している。		

自己評価	外部評価	項目(かぐや姫 GH2	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人生の先輩であるご利用者様に接する際は尊厳をもって声掛けする様努める。一人一人にプライバシー、羞恥心もあり配慮しながら対応する。常に初心に返る様にと毎月のミーティング時には議題にあげている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご利用者様の意思や思いを尊重し、無理強いや強制を行わないようにする。少し時間をあけて再度声掛けし、ご利用者様自身が自己決定できるような環境作りをする。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人一人がご自分のペースで生活出来るよう、ご利用者様の希望を聞き、ご希望に沿える様、支援していく。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	起床時には洗面台の前で出来る範囲で整容されている。入浴時には職員と一緒に洋服を選んでもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	週に一度は日頃提供していない内容のメニューをお出しし大変喜ばれている。米飯は好まないご利用者様にはふりかけやおむすびを提供し食事を楽しんで頂いてる。		

自己評価	外部評価	項目(かぐや姫 GH2	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎月体重を計り、増減をチェック、記録している。ご利用者様の食事量、水分量も記録し食事量、水分量が確保出来てない時はミーティング等で話し合い、好みの物を見つけ提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアを実施している。出来る所までご自分でして頂き最後は職員にてチェックしている。義歯が合わなくなったご利用者様は歯科受診日に報告している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>出来るだけトイレ誘導し、ご本人様にトイレで排泄する習慣をもって頂く。夜間はポータブルトイレを使用し職員が介助している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>ご利用者様一人一人に合った便コントロールを実施している。出来るだけ薬ではなく自然排便を目指し、水分もしっかり摂取して頂く様に声掛けし提供している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>最低週2回提供している。一般浴だけでなく機械浴もあり、しっかり入浴を楽しんで頂いてる。女性のご利用者様は特に職員と一緒に洋服を選んで頂きながら会話をされている。入浴拒否のご利用者様には無理強いせず日を変えたりして対応している</p>		

自己評価	外部評価	項目(かぐや姫 GH2	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>ご利用者様の入居前の生活習慣 を崩さず、その人らしく自然体 で休息や睡眠がとれる様に支 援します。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>服薬時には職員は日付、名前、 を確認し、ご利用者様にも確 認して頂いて。新しく処方され た薬は内容をしっかり理解し職 員で共有する。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>入居前の生活歴をしっかりと職 員間で共有し、一人一人に合 った役割を持って頂き、楽し んで生活出来るよう支援して いきます。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援して いる。</p>	<p>コロナ禍の為、外出行事、実 施出来ず。家族様と連絡し、 リモートでご利用者様と会 話される様に対応する。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p>	<p>ご利用者様と近所へ買い物等 出掛けられない為、職員が ご利用者様の望まれる品物を 買って提供するよう心掛けて いる。</p>		

自己評価	外部評価	項目(かぐや姫 GH2	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	今の時期、面会が困難な為家族様から声が聞きたい。ご利用者様からも娘と話したい等の訴えある際はその都度対応している。暑中はがきを書ける所は書いて頂き、ご家族様へ送ったりと支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご利用者様は1日のうち、大半をデイルームで過ごされている。職員も間に入り四季を感じられるような壁画を作り楽しめるような空間作りを提供している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	1日のうち、ほとんどデイルームで過ごされているが、気の合った利用者様と話されたり、一人で新聞読んだり、パズルしたりと思い思いに過ごされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	安心して過ごせる様、家族写真、使い慣れた品物を身近に置き、不穏なく日々が送れる様、支援していく。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	事故、ケガ等が起こらないよう細心の注意を心掛けながら職員間で声掛けし、出来る事が少しでも増える様支援していく。		

V アウトカム項目(かぐや姫 G2) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームかぐや姫

作成日 令和4年 4月 8日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域の交流がコロナ禍の中ではあるが少ないように思える。	グループホームの存在を今以上に認識して頂き、地域に溶け込み災害時には協力を得たい。	ご利用者様と散歩時、地域の方と挨拶を交わしたり、地域のコミュニティの内容によって参加し交流を深めて行きたい。	6ヶ月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。